

学校連携モデル研究事業2019

大川 剛¹⁾

School collaboration model research project 2019

Tsuyoshi Okawa¹⁾

はじめに

沖縄県立博物館・美術館では、県民の自己啓発や学習を発表する場の提供、また博物館資料を活用した学習支援活動を目的として、ボランティア員の導入による学習プログラムの推進や、博物館学芸員の学校招聘による出前授業等を行っており、これらの活動は多様化する来館者のニーズに対し、よりきめ細かなサービスへの寄与と自己学習の場となることを目指している。

さて、当館教育普及はその活動において博物館班の学芸員・及び指定管理者と協働して教育普及活動を展開しているが、近年県内各校からは出前授業をはじめ、館の収蔵資料を利用した多岐にわたるサービス提供の要望が高まっている。

そして当館の各校に向けての学習プログラムについては、地域・学校のニーズに合った十分な教育プログラムサービスの向上を図る必要がある、今後当館資料の利用を活用し、来館者の増加に繋げるため、日々創意工夫と研鑽を重ねることが必要であると考える。

そこで、平成29年度(2017)をスタートに、「学校連携モデル研究事業」として、県内各学校における教育普及モデル校と連携し、各校種・年齢層にきめ細やかに対応した学習プログラムの開発を行って行きたいと考え取組を行い、本年度で3年目の実践となる。

ここでは、今年度における本事業の取組を紹介したい。

1 本事業3年目における取り組みについて

事業取組みの3年目に当たる2019年度(令和元年度)は、県内各学校における学校連携の教育普及モデル校への教育プログラムの取組実践を昨年度に続き以下の通り行うこととした。

(1) 2018年度(平成30年度)募集・選定を行った連携校以外にも全県の各校種に呼びかけを引き続き行う。

(2) 館内における展示資料活用による学習プログラム充実のため、教職員向け学習プログラムの実践を昨年度に続き図る。

(3) 連携校においては、

①連携校実践1: 那覇市立天久小学校

学芸員による出前授業及び当館資料を利用した調べ学習の実践。

②連携校実践2: 学芸員による出前授業

「明治維新と琉球・中国・宮古島」

③連携校実践3: 那覇市立城南小学校

学芸員による出前授業及び当館資料を利用した民具体験学習の実践。

④連携校実践4: 県内中学校・高等学校

・那覇市立那覇中学校

・沖縄尚学高等学校附属中学校

・沖縄尚学高等学校

当館ふれあい体験室におけるボランティア活動

などについて取組の充実を図った。

詳しい取り組みについては、2以降の通りである。

¹⁾ 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

Okinawa Prefectural Museum & Art Museum, 3-1-1, Omoromachi, Naha, Okinawa, 900-0006 Japan

2 県内各校への本事業呼びかけについて

県内各学校における、学校連携の教育普及モデルを募るため、平成31年4月に、県内各校への本事業周知のため、昨年度と同様にリーフレットを配布した。リーフレットは平成29年度刷新したものを使用し、

- 各分野学芸員による出前授業の紹介
- 館内プログラム内容の紹介
- 貸し出し学習体験キット（ハンズオンキット）の紹介

等の内容を掲載し、博物館教育普及事業の概要が学校教職員に理解しやすいよう工夫を行い作成した。
※リーフレット配布は全県各種学校

今年度は学校訪問の他にも各校種の教職員の直接来館時においても、受入についての周知を図った。

また、当館が所蔵している「ハンズオンキット（体験キット）」についてもリーフレットを刷新し県内各校への配布を行い、学校における利用を促した。



図1-① ハンズオンリーフレットおもて面



図1-② ハンズオンリーフレット裏面

3 連携推進校への実践

○各連携校における実践

【那覇市立天久小学校】連携校実践1

- ①学習内容：学芸員による出前授業及び当館資料を利用した調べ学習の実践。
- ②実施日：
(出前授業) 令和元年7月8日(月)
那覇市立天久小学校地域連携室にて。



博物館観覧に関するマナーや資料保護に関する知識理解など、イラストを通して伝えた。



- (来館学習) 令和元年7月18日(金)
当館総合展示室にて。

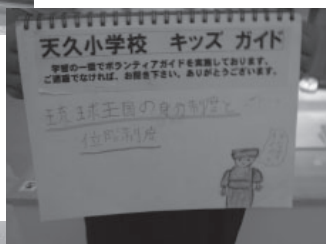


天久小では教育普及担当学芸員を招聘して出前授業を行い、その後来館して調べ学習を行っている



「ジュニア学芸員になろう」というテーマで、館内資料の調べ学習を行う。

(成果報告) ※平成30年度のもの。
平成31年2月7日(木) 当館総合展示室にて。



【沖縄県立宮古高等学校】連携校実践2

- ①学習内容：学芸員による出前授業
「明治維新と琉球・中国・宮古島」
- ②当該校の世界史授業として
- ③対象学年：1学年5学級
2学年選択授業1学級
- ④実施および教科
令和元年10月24日(木)
3時間目(11:05～)1年3組世界史
4時間目(12:05～)1年2組世界史
6時間目(14:40～)1年4組世界史
令和元年10月25日(金)
1時間目(9:05～)1年1組世界史
3時間目(11:05～)3年地理
6時間目(14:40～)1年5組世界史
- ⑤今後歴史分野のほか人類分野、地学分野とも有機的に絡めた授業を展開する。

【那覇市立城南小学校】連携校実践3

- ①学習内容：学芸員による出前授業及び当館資料を利用した民具体験学習の実践。
- ②出前授業実施
 - ・令和2年1月16日(月)
 - ・那覇市立城南小学校地域連携室にて。
 - ・学習内容：教育普及担当学芸員による、当館利用による民具体験学習事前学習
 - ・当該校の総合学習として実施。
 - ・対象学年：3学年3学級
- ③当館における民具体験学習実施
 - ・令和2年1月23日(木)
 - ・沖縄県立博物館・美術館実習室ほか
 - ・対象学年：3学年3学級
 - ・ボランティアのサポートによる授業を展開する。

【ボランティア活動】連携校実践4

- ①活動内容：当館ふれあい体験室においてのボランティア活動
- ②実施：夏休み期間中(当館にて)及び土日の活動。
- ③連携校：
 - ・那覇市立那覇中学校

- ・ 沖縄尚学高等学校
- ・ 沖縄尚学高等学校附属中学校

表 令和元年度における、学生ボランティア活動数

※那覇中（那覇市立那覇中学校）のべ参加数なし

※沖尚高（沖縄尚学高等学校）のべ参加数なし

※沖尚中（沖縄尚学高等学校附属中学校）のべ参加数あり

活動日	参加校	参加人数
7月20日（土）	那覇中	2名
7月26日（金）	那覇中	2名
	沖尚中	1名
8月2日（金）	沖尚中	1名
8月3日（土）	沖尚高	6名
8月9日（金）	沖尚中	8名
8月10日（土）	沖尚高	5名
	沖尚中	9名
8月16日（金）	沖尚中	9名
8月17日（土）	沖尚高	5名
8月24日（土）	沖尚中	12名
9月14日（土）	沖尚中	4名
10月5日（土）	那覇中	2名
11月16日（土）	那覇中	2名
	総計	68名

【那覇市立那覇中学校の体験取組み】



学生による当館でのボランティア活動を通して、キャリア教育を支援。

【沖縄尚学高等学校附属中学校の体験取組み】



【沖縄尚学高等学校の体験取組み】



4 夏休み期間中における、教職員向け講座について
 本館教育普及事業においては、平成22年度より小学3・4年生向け学習プログラム「民具体験学習」受入を行い、現在も博物館ボランティア員による民具の着衣体験や展示室解説などが行われている。受入数も23年度の45校をピークに毎年30校前後の受入を行っているが、県内の周知も広まる中、学習プログラムへの申し込みが殺到し、ボランティアによる受入にも飽和状態が見られ、来館サービス充実についての課題が見られる状況であった。

また、教職員の方々からも自分たちで博物館資料を活用しての授業実践の要望に高まりが見られるようになった。

そこで、平成29年度より既に作成・製本が完成していた展示資料解説マニュアルを活用して、博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導、ボランティアによる体験学習進行の解説等を行い、教職員の授業における活用を支援する講座取り組みを夏休み期間設定し行った。

- (1) 期日 令和元年8月1日(木)
- (2) 場所 沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室・実習室(参加14名)
- (3) 対象 県内小学校教諭・教職者

【講座の様子：展示解説】



【講座の様子：民具体験学習体験】



ボランティアによる民具体験学習説明の様子
実際に民具に触れ、使い方を学んだ



【教職員による民具体験授業実施】

教職員による民具体験の実施については、夏休み教職員向け講座後、当館施設(実習室借用)を申請して、ボランティアの支援に依らない学校職員による民具体験実施が見られた。

(令和元年度は6校実施※12月1日現在)

取り組みまでの手順としては、

- ①希望日の選定と申請
- ②教育普及担当者との事前打合せ
- ③来館による授業実践

以上の流れで行われた。

授業当日は教育普及担当1名が資料管理と状況に応じた細かな指示を行うなど、先生方が授業に集中できるよう配慮した。



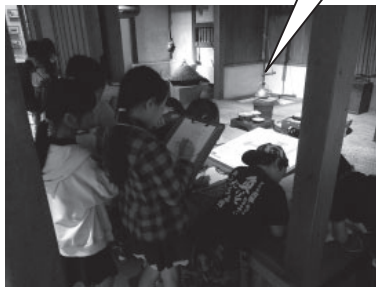
学習の初めは、昭和10年ごろに記録された沖縄の風俗の様子を観賞した。



講座を受講した先生方が、学習の流れから保護者への指導などを事前に行い、授業に取り組んだ。



学校によっては、保護者の協力のもと、民具体験学習に取り組む姿も見られた。



6 令和2年度の事業設計について

(1) 学校連携協力校との関わりについて

令和元年度における協力校との関わりについては、今後調整予定の学校も含め、以下の取り組みを展開していく考えである。

また、協力校以外にも、出前授業等の要望があれば、学芸員との調整の上対応していきたい。

離島における移動展（令和2年度多良間小中学校予定）においても、各校と調整の上学習プログラム実践を推進していきたい考えである。

(2) 令和2年度取組み調整中の連携校

① 沖縄県立球陽高等学校

- 出前授業の実施
(美術工芸担当学芸員)

② 沖縄県立宮古高等学校

- 出前授業の実施
(歴史担当学芸員ほか)

③ 那覇市内公立・私立中学校

- 夏休み期間における学生ボランティア受け入れ

④ 那覇市立天久小学校

- 出前授業実施
(教育普及担当学芸員)
- 当館博物館常設展示解説
(ボランティアによるサポート)

⑤ 那覇市立城南小学校

- 出前授業実施
- 民具体験学習
(ボランティアによるサポート)

⑥ 離島における各学校

- 出前授業の実施
(各分野学芸員による)

(3) 本事業最終年度に係るその他の取組

本事業最終年次にあたり、これまでに実践・改善を図ってきた学習プログラムを広く県内の各種学校に広め、館内における学習に取り組めるよう、報告書の作成と館内ホームページにおける情報開示を行う。

下記の各館・各学校のご協力に感謝申し上げます。
(順不同)

- ・ 那覇市立城南小学校
- ・ 那覇市立天久小学校
- ・ 沖縄県立宮古高等学校
- ・ 那覇市立那覇中学校
- ・ 沖縄尚学高等学校附属中学校